

蠟梅 Now

寒い時期には数少ない存在として可憐な花を付け
芳しい香りを漂わせた「蠟梅」は、3月後半にはす
っかりその花を落とし、新芽が吹き始めると、愛で
られる花の座から静かに退場し、梅、桜、躑躅、菖
蒲、紫陽花へと次々にバトンを渡してきた。

今、梅雨も明け、全体が新緑の若葉に覆われて、
清しい生命活動を始め、来る開花に備えてエネル
ギーの蓄積にひたむきになっている。物言わぬその
姿勢には、将来に向けて生命を紡ごうとするたくま
しさが秘められているような気がする。

暑い中、蠟梅を観ながら物思いにふけっていると、
奇妙なものが目に留まった。植樹して2年が経過し、
これまでこの時期にあまり気がつかなかったが、ま

るで何かの幼虫のような果実であることが判った。
よく観るとあちこちに数十個はあるだろうか。今年
はことのほか結実が多いようである。実を生らすと
木が弱るといわれているが、間引くのも忍びない。
もう少し様子を見てみようか・・・。



若葉の蠟梅



奇妙な果実

《発行者》

特定非営利活動法人 未来技術フォーラム神戸
事務局長 大森 信

〒657-0845 神戸市灘区岩屋中町 4-2-7

TEL & FAX : 050-2014-2293 (IP Phone)

E-mail : info@npo-ftfk.or.jp

URL : <http://www.npo-ftfk.or.jp>